

私たちは日本スポーツ振興センターの競技力向上事業助成とスポーツ振興くじ助成を得て事業を行っています

作成日: 2023年5月31日

2022年度 事業報告書

(自 2022年6月1日 ~ 至 2023年5月31日)

公益社団法人

日本ボブスレー・リュージュ・スケルトン連盟

公益社団法人日本ボブスレー・リュージュ・スケルトン連盟(JBLSF)は、日本国内のボブスレー・リュージュ・スケルトンの各競技を統括し、代表する団体として、定款に掲げる目的を達成するため、以下の事業を実施した。

1. 競技普及振興活動

(1) そり競技体験会事業

傘下の道府県連盟が主体となり、新型コロナウイルス感染症予防対策を万全にして、小中学生を対象とした体験会事業を実施し、楽しみながらそり競技の魅力を体感してもらうことで、参加者はもとより、家族、友人、学校関係者のそり競技認知度を高めた。

事業名称	開催地	会場	開催日	参加数(人)
プッシュスケルトン体験会	大阪・滋賀	滋賀県立国際 情報高等学校	2022/12/29	3
プラスチックそり大会	宮城	太陽の村	中止	-----
スケルトン体験教室	北海道	藤野競技場	2023.2月	47/3回
リュージュ体験教室		藤野競技場	2023/1/20	17

(2) 選手発掘事業

① JSC スポーツくじ事業 タレント発掘

昨年度策定した競技別発掘育成計画書に基づき、ボブスレー・スケルトンは8年、リュージュは15年計画でオリンピックメダリスト有望選手を発掘・育成することを目的に、以下の事業を実施した。

■ボブスレー・スケルトン合同

事業名称	開催地	開催日	のべ参加数(人)
選手発掘テスト5	宮城県	2022/7/9	7
選手発掘テスト7	東京都	2022/7/23	19
選手発掘テスト8	愛媛県	2022/7/30	108
選手発掘テスト10	福岡県	2022/8/10	33
選手発掘テスト12	東京都・埼玉県	2023/2/4・2/11	4

■ボブスレー

事業名称	開催地	開催日	参加数(人)
実施せず			

■リュージュ

今年度は新たに育成候補3名を発掘。

昨年度発掘した育成選手2名は、韓国、札幌、アメリカで氷上滑走トレーニングを実施(海外育成合宿1.4 育成合宿9) 今年度発掘した育成選手は札幌、アメリカで氷上滑走トレーニングを実施した。

事業名称	開催地	開催日	参加数(人)
選手発掘テスト1	長野県	2022/11/19	4
選手発掘テスト2	北海道	2022/11/27	13
選手発掘テスト3	愛媛県	2022/12/17	8
育成合宿1	長野県	2022/8/8~8/11	2
育成合宿2	長野県	2022/12/10~12/12	2
育成合宿3	北海道	2023/1/30~2/5	6
海外育成合宿1	韓国	2023/1/8~1/14	2
海外育成合宿2	アメリカ	2023/2/28~3/7	4
巡回指導1	北海道	2022/7/25~7/26	1
巡回指導2	北海道	2022/10/15/10/16	1
巡回指導3	オンライン	毎月1回	2(3月より5名)

■スケルトン

発掘した育成対象選手を対象に、国内ではプッシュ技術向上のトレーニング、国外では滑走技術の向上を目的に海外育成合宿を行った。国内では経験できない公式製氷コースで、氷上でのプッシュ練習と滑走練習を実施した。

事業名称	開催地	開催日	参加選手(人)
育成合宿 3	長野県	2022/7/23～25	3
育成合宿 5	長野県	2022/8/25～28	3
育成合宿 10	長野県	2022/10/28～30	6
海外育成合宿 2	韓国	2022/12/28～2023/1/7	7
海外育成合宿 5	韓国/アメリカ	2023/2/20～3/18	1

① JSC 委託事業 J-STAR プロジェクト

選手の競技転向を促進させる国家プロジェクトの委託事業として、スケルトン競技に必要なスプリント能力の向上を図りながら、応募選手の競技特性を検証した結果、スプリント能力と跳躍力に優れた 2 名の選手(野球競技者と陸上競技者)を、スケルトン競技の次年度育成対象選手に認定した。次年度から二刀流選手としての育成を開始する。

【検証合宿】

事業名称	開催地	会場	開催日	参加選手(人)
検証合宿 1	長野県	スパイラル 黒姫高原陸上競技場	2022/5/13～15	8
検証合宿 2		スパイラル 黒姫高原陸上競技場 長野市運動公園陸上競技場 あずみ野F1パーク	2022/7/15～18	2
検証合宿 3		スパイラル 長野市運動公園陸上競技場	2022/8/24～27	2
検証合宿 4		スパイラル 黒姫高原陸上競技場 長野市運動公園陸上競技場 サーキットあづみ野	2022/10/7～10	2
検証合宿 5	愛媛県	ニンジニアスタジアム イヨテツスケートリンク	2023/1/15～17	2
検証合宿 6	沖縄県	黄金森陸上競技場 ククル読谷サーキット アハラビーチ	2023/2/16～19	2

【巡回指導】

事業名称	開催地	開催日	参加選手(人)
巡回指導 1	滋賀県	2022/6/12・16	1
	北海道	2022/6/13～14	1
巡回指導 2	北海道	2022/9/23～24	1
	滋賀県	2022/9/25～26	1
巡回指導 3	オンライン	2023/2/11	2
巡回指導 4	オンライン	2023/3/6	2

(3) 国際大会・全国大会事業

長野市ボブスレー・リュージュパーク(通称スパイラル)の冬季製氷休止に伴い、JBLSF が運営する冬季大会は今年度も事業を休止した。

夏季に開催するボブスレー及びスケルトンの全日本プッシュ選手権大会は、医科学部所属の医師帯同のもと、前年度と同様に新型コロナウイルス感染症対策を万全に整えて開催し、実践の場を通じた各選手の競技力強化及びボブスレー、スケルトンの振興普及を図った。

事業名称	開催地	会場	開催日	参加数(人)
2022 全日本プッシュスケルトン選手権大会	長野県	スパイラル	8/27	38
2022 全日本プッシュボブスレー選手権大会				23

(4) 審判資格者育成事業

審判員資格の取得は、大会運営に必要不可欠な競技役員の確保のみならず、選手やコーチの活動における基礎知識の取得にもつながることから、競技委員会や加盟団体と連携して研修会・講習会を開催した。

研修会・講習会では国際審判員資格取得者が講師を務め、競技普及の一助となるよう、参加料・受験料はすべて無料とした。

また、新型コロナウイルス感染症対策の観点から、WEB 活用も図り事業を行った。

事業名称	開催地	会場	開催日	参加数(人)
大阪連盟ルール講習会	兵庫県	サンライフ明石	12/13	7

(5) 長野スパイラル利用拡大推進事業

長野スパイラルの冬季製氷休止に伴い活動休止。

(6) 広報・資金調達活動事業

マーケティング委員会を設置し、事業計画を上回る新規スポンサー6社を獲得した。

JOC ジョイントマーケティングプログラムにおいては、連盟 HP に JOC スポンサーロゴを掲載することで貢献した。

Twitter 連盟アカウントにおいて、連盟事業の報告のみならず、JOC 北京五輪一周年イベントや加盟団体が出演するテレビ番組のリツイートを行うことで、普及活動も積極的に宣伝した。

2. 競技者強化と指導者養成活動

(1) 強化事業

-1. ボブスレー

インテグリティ、コンプライアンス教育強化の一環としてオンラインでアスリートセミナーを実施した。セミナーの受講態度、セミナー後に提出した課題を評価して、海外合宿に参加する選手の選考基準の一つとした。

事業名称	開催地	事業内容	開催日	参加数(人)
国内合宿1	オンライン	アスリートオンラインセミナー	2023/2/1~7	7

-2. リュージュ

2020年に国際リュージュ連盟(FIL)の支援で締結した、米国リュージュ連盟(USLA)とのパートナーシップ契約を当年度も継続し、USLAの育成プログラムに沿って、JOC海外研さん事業を利用し、アメリカ・レイクプラシッドにて、氷上スタートトレーニングを中心とした強化トレーニングを実施した。

JSC発掘育成事業で、選手の発掘・育成・強化を図った。

また、当年度の合宿では、ローラーリュージュで氷上滑走状態に似た感覚を養うトレーニングを重点的に取り入れた。

事業名称	開催地	目的	実施結果	開催日	参加数(人)
海外研さん事業	アメリカ	1. 専門コーチによる氷上スタートトレーニング 2. 専門トレーナーによるフィジカルトレーニング 3. ローラーリュージュでの技能形成	USLAの協力で、氷上スタートトレーニング、フィジカルトレーニングをアメリカチームと合同で実施。 国際競技会にて、スタートタイムが約0.1秒向上した。	2022/7/4~9/6	1

-3. スケルトン

JSC次世代ターゲットスポーツの支援委託事業(次タゲ事業)で選定したジュニア選手を対象に、コンディションチェック並びにプッシュタイム向上を狙った合宿を重点的に実施した。

事業名称	開催地	会場	開催日	参加数(人)
国内合宿1	愛媛県	ニンジニアスタジアム	2022/5/23~29	1
国内合宿2	長野県	長野市ボブスレー・リュージュパーク 長野市運動公園陸上競技場 黒姫陸上競技場	2022/7/14~18	1

-4.ボブスレー・リュージュ・スケルトン(合同)

東京高専と連携を図り、シミュレーションシステムを用いた選手強化を目的としたシンクロアスリートの動画撮影、実際の滑走コースの3Dデータ化の実験を実施した。動画、3Dデータの製作は成功し、今後の強化事業に活かしていく。

事業名称	開催地	実施内容	開催日	参加数(人)
新しい生活様式	長野	コースの3Dデータ製作	2022/10/28-30	7
新しい生活様式	欧州、北米	シミュレーションシステムの動画撮影	2022/10/6-11/27	2
新しい生活様式	北海道	コースの3Dデータ製作	2023/1/27-29	6

(2) 海外遠征・国際レース参戦事業

-1. ボブスレー

2024年1月に開催されるユースオリンピック予選会(韓国)に参加した。大会期間中、選手が怪我をしたため、試合には参加することができず早期帰国となった。

身体能力の高い選手3名を対象に新人パイロット育成を目的とした海外滑走合宿を実施した。約20本の滑走トレーニングをおこない、パイロット適性を見極めることができた。

事業名称	開催地	事業内容	開催日	参加数(人)
海外遠征	韓国・フランス	ユースオリンピック予選・海外滑走合宿	2023/2/20~2/25 2023/3/3~3/14	4

-2. リュージュ

国際リュージュ連盟(FIL)の支援で締結した、米国リュージュ連盟(USLA)とのパートナーシップ契約に沿ってUSLAチームに帯同し、氷上滑走トレーニング、国際大会に参加した。

今年度は、国際大会参加を少なくし、USLAチームと合同氷上滑走トレーニングを中心に実施した。また、指標となるワールドカップ2戦、アジア選手権・世界選手権の4試合に参加し、昨年度は出場出来なかったワールドカップ本戦にも進むことが出来た。

またワールドカップU-23カテゴリーランキングでは9位に入っている。

USLAチームと帯同していないアジア選手権は、韓国リュージュ連盟の手厚いサポートもあり、優勝することが出来た。韓国リュージュ連盟とも良好な関係を構築出来た。

■ワールドカップ / ネイションカップ(=ワールドカップ予選) 男子

日程	大会	開催地	順位	出場選手
2022/12/2	第1戦 ネイションカップ	オーストリア・インスブルック	18	小林誠也
2022/12/4	第1戦 ワールドカップ		25	
2023/2/3	第6戦 ネイションカップ	ドイツ・アルテンベルグ	17	
2023/2/5	第6戦 ワールドカップ		24	

■アジア選手権 / 世界選手権 男子

日程	大会	開催地	順位	出場選手
2022/12/17	アジア選手権	韓国・平昌	優勝	小林誠也
2023/1/29	U23 世界選手権	ドイツ・オーバホーフ	9	
2023/1/29	世界選手権		27	

-3. スケルトン

JOC 強化指定選手の国際大会出場は学業への専念の申し出により、すべて中止とし見送った。

また、2024 年 1 月に韓国で開催されるユース五輪出場に向けた予選会へ育成選手を派遣した。今年度初めて滑走をした選手であったが経験を積み、第 6 戦レイクプラシッド大会では 4 位と健闘した。

■ OMEGA Youth Series Competition

日程	大会	開催地	順位	出場選手
2023/3/1	第 3 戦	韓国・平昌	16	篠原 彩緒
2022/3/2	第 4 戦	韓国・平昌	DNS	
2023/3/14	第 5 戦	アメリカ・レイクプラシッド	5	
2023/3/15	第 6 戦	アメリカ・レイクプラシッド	4	

(3) 指導者養成事業

ソリ競技発展の源になる、資格を有した指導者の育成と、継続的なコーチング技術の研鑽目的で、以下の事業を実施した。

■ 専門科目講習会

専門科目講習を対面実施し、受講者4名中1名が公認コーチ3資格を取得した。

事業名称	開催地	会場	開催日	参加数(人)
公認コーチ3養成講習会	受講者所在地	オンライン講習	2022/8/ 6・7	4
公認コーチ3養成講習会	長野市	長野市スパイラル	2022/9/ 3・4	2
公認コーチ3養成講習会	札幌市	藤野リ्यूージュ競技 場・藤野地区センター	2023/1/ 21・22	1

※認定は2023年9月を予定

■ 2023年度公認コーチ資格講習

2023年度は継続受講者のみを対象として実施する予定を日本スポーツ協会へ通達した。

(4) 長野スパイラルそり競技調査研究事業

長野スパイラルの冬季製氷休止に伴い、スパイラル機材を活用した同事業は休止した。

(5) 医科学サポート推進事業

JOC が掲げる「人間力なくして競技力向上なし」の体現を目指し、3 競技の強化後方支援として、競技力向上に繋がる選手教育や医・科学サポート活動、その研究支援などを行った。

また、人間力の向上を目指し、インテグリティ教育の推進を担った。なお、コーチの資質能力向上や指導力向上に繋がる医・科学情報の提供も念頭に入れ、活動に従事した。これらの活動に関しては、医・科学部の単独事業では無く、3 競技の強化方針ならびに計画に基づいた連携のもと、JBLSF 事業として計画的に実施した。

① 年間活動

活動名称	目的	対象者
感染症に関する情報共有	スポーツ庁、ならびに JOC 等から発出される内容を基に、関係者に対して情報共有	加盟選手 スタッフ
行動規範、行動指針の見直しと再策定	行動規範、行動指針の再策定と選手、コーチへの情報発信	
次世代ターゲットアスリート事業 医・科学サポート(スケルトン)	次世代ターゲットアスリートの競技力向上と人間力育成 持続的な強化・育成システムの構築を目指した知見の獲得	選手 2 名 スタッフ

② 事業

事業名称	開催地	事業目標	開催時期	参加数(人)
3 競技合同会議	東京都 (ハイブリッド開催)	行動規範、行動指針の公開と参加者の共通理解 アンチ・ドーピングの応用知識習得 インテグリティに関する知識習得 競技力向上につながる医・科学情報の理解 海外派遣を見据えた感染症対策情報の理解	2022 9/3-4	選手 6 名 スタッフ 12 名
アンチ・ドーピング 基礎研修	教育資料 のメール 展開	アンチ・ドーピングに関する基礎知識の習得	2023 3/30	選手 9 名 スタッフ 12 名

以上